



Little Diamonds

YOUTH

第32回日本クラブユース(U-18)選手権 出場決定

5月24日(土)から行われていた、第32回日本クラブユース(U-18)選手権関東予選が終了し、浦和レッズユースが7月26日(土)から福島県のJヴィレッジで始まる全国大会に2年連続出場を決めた。97年以来の優勝を目指す。

2次リーグは5戦全勝 関東4位

関東予選2次リーグは6チーム×4グループの総当たり戦。ここでグループ2位になれば関東ベスト8となり全国出場が決まる。グループ3位チームが関東第9代表の座を争う順位戦に進む方式。レッズユースは、初戦から順調に勝点3を積み上げ、第3戦の横河武蔵野ユースに大会初失点を喫したものの、落ち着いた試合運びで勝利した。川崎、湘南らJクラブ下部組織との対戦も制し、5戦全勝のDグループ1位で全国出場を決めた。

しかし順位決定戦では準決勝で柏ユースに2-7の大敗。3位決定戦でも横浜FMユースに0-3で敗れ関東4位となった。



2次リーグ第5節・後半15分、原口元気がこの試合4点目を決める(6.15/湘南戦)



2次リーグ第5節・前半38分、武富尚紀がゴール前にパスを送り、山田直輝のゴールをアシスト(6.15/湘南戦)



2次リーグ第5節・後半41分、山田がGKをかわしシュート。さらにこれを詰めて、この試合2点目を挙げる(6.15/湘南戦)



2次リーグ第5節・後半42分、右クロスに阪野が飛び込み、ゴール。レッズに10点目が入る(6.15/湘南戦)

全国大会日程

グループリーグ 7月26日・27日・29日
準々決勝 7月30日
準決勝 8月1日 決勝 8月3日
*準々決勝まではJヴィレッジ、準決勝、決勝はニッパツ三ツ沢球技場(横浜)

日本クラブユース(U-18)選手権 関東予選2次リーグ 第1節 2008.5.24(土) レッズランド	
レッズユース	8前4 VS 前0 町田ゼルビア 後4 後0
GK	柴田大地
DF	菅井順平 濱田水輝(藤野友則) 永田拓也 和田祐樹(森田健介)
MF	池田涼司(山地翔) 岡本拓也(若井祥吾) 田仲智紀
FW	矢島倫太郎(鈴木大輝) 阪野豊史 磯部裕基
得点者	阪野 4 鈴木 2 田仲、磯部

日本クラブユース(U-18)選手権 関東予選2次リーグ 第2節 2008.5.31(土) レッズランド	
レッズユース	2前1 VS 前0 川崎東の木 後1 後0
GK	柴田大地
DF	山地翔(池田涼司) 菅井順平 濱田水輝 永田拓也(岸幸太郎)
MF	森田健介(藤野友則) 岡本拓也(岡田昌巳) 田仲智紀(武富尚紀) 石沢哲也
FW	矢島倫太郎 阪野豊史
得点者	石沢、岡田

日本クラブユース(U-18)選手権 関東予選2次リーグ 第3節 2008.6.1(日) レッズランド	
レッズユース	3前1 VS 前0 横河武蔵野 後2 後1 ユース
GK	中村隼
DF	池田涼司(武富尚紀) 菅井順平 山地翔 永田拓也
MF	濱田水輝 田仲智紀 石沢哲也(池西希)
FW	岸幸太郎(岡本拓也) 矢島倫太郎(鈴木大輝) 阪野豊史(岡田昌巳)
得点者	阪野、濱田、鈴木

日本クラブユース(U-18)選手権 関東予選2次リーグ 第4節 2008.6.8(日) レッズランド	
川崎ユース	0前0 VS 前1 5レッズユース 後4 後1
GK	柴田大地
DF	和田祐樹 菅井順平 濱田水輝 永田拓也(池田涼司)
MF	池西希 田仲智紀(岡田昌巳) 石沢哲也
FW	矢島倫太郎(磯部裕基) 阪野豊史 原口元気(鈴木大輝)
得点者	石沢、阪野、矢島、磯部、原口

日本クラブユース(U-18)選手権 関東予選2次リーグ 第5節 2008.6.15(日) レッズランド	
レッズユース	10前2 VS 前1 2湘南ユース 後8 後1
GK	中村隼
DF	和田祐樹 菅井順平(山地翔) 濱田水輝 永田拓也
MF	池西希(阪野豊史) 山田直輝 石沢哲也(武富尚紀)
FW	高橋峻希(岡田昌巳) 武富尚紀(磯部裕基) 原口元気(矢島倫太郎)
得点者	武富、山田 2 原口 4 矢島、磯部、阪野

日本クラブユース(U-18)選手権 関東予選準決勝 2008.6.21(土) 那須スポーツパーク	
レッズユース	2前0 VS 前3 7柏ユース 後2 後4
GK	柴田大地(中村隼)
DF	和田祐樹(山地翔) 菅井順平 岡本拓也 永田拓也
MF	濱田水輝 田仲智紀 石沢哲也(矢島倫太郎) (池田涼司)
FW	磯部裕基 武富尚紀 原口元気(阪野豊史)
得点者	矢島、原口

日本クラブユース(U-18)選手権 関東予選3位決定戦 2008.6.22(日) 那須スポーツパーク	
レッズユース	0前0 VS 前0 3横浜FM 後0 後3 ユース
GK	柴田大地
DF	濱田水輝 菅井順平 岡本拓也(大里康朗) 永田拓也(新井貴晴)
MF	池西希(武富尚紀) 田仲智紀 原口元気
FW	磯部裕基(森田健介) 阪野豊史 矢島倫太郎(和田祐樹)
得点者	

第32回日本クラブユース(U-18)選手権 11年ぶり優勝に向けて、頑張る！

早く Jヴィレッジで試合を

和田祐樹 (DF・3年)



このチームは前線から相手を追い込んでくれるので、僕ら DF がボールを奪いやすいです。自分自身は体も強くなり、1対1にも強くなったと思います。クロスで得点の起点になることも意識しています。3年前の優勝は思い出しますね。これが最後のクラブユースなので良い成績を収めたいですし、3年前は名取監督のためにも、とチームが良い雰囲気になっていました。今年も堀監督のためにも、という気持ちがあります。もちろん自分のためにも。今は早く Jヴィレッジで試合をしたい、という気持ちですね。

この強いチームに絡みたい

池西 希 (MF・2年)



(山田)直輝くんや(高橋)峻希くんがトップに帯同しているときに、ポジション的に自分のチャンスで、そのときに結果を出していけば、2人が戻ってきたときにプレッシャーをかけられると思います。それに2人がいないときは、レッズのサッカーができない、というのは嫌ですからね。自分には来年もあります。今年のチームは、ベンチで見ている先制されても安心していられるほど強いですから(笑)。その中で試合に絡みたいです。1年生も2年生も出ていますが、3年生が優しいのでみんな仲が良かったです。

試合の立ち上がりしっかり

永田拓也 (DF・3年)



クラブユースの全国大会に出るのは3回目ですが、今年で最後なので優勝したいですし、この年代は周りからも期待されていると思います。去年から出ているメンバーも多いので、やるサッカーはあまり変わっていません。1年生ともうまくいっています。ポイントは立ち上がりですね。ダラダラ入ってしまうときがあって、全国大会では1点差勝負もありますから、そこをしっかりやればボールは回るのでペースはつかめるとも思います。期間中ずっと一緒にいるのも楽しいですよ。みんな意識が高いですから。

気を引き締め全国に臨む 選手の特徴を出して優勝を

堀 孝史 ユース監督

関東2次リーグでは1試合を通じてうまくいったゲームばかりではなかったんですが、結果として全て勝つことができました。ただ、最後の試合では勝利がほぼ決まっていた状況で2失点してしまうなど、厳しい試合になったときにそれは難しいと思いますので、気を引き締めなければいけ

ないと思っています。今の選手たちは、誰がメンバーに入ってもやろうとするサッカーは変わりがありません。全国大会でも、自分たちがやろうとしていることがどれくらいできるか、体力、気持ち、技術など、これまで同様に質を上げていくことが課題です。去年は、この大会に出てサンフレッチェ

広島に敗れ、僕自身もやらなければいけないことがはっきりしましたし、選手たちも今のままでは勝てないということを感じたと思います。そうした足りない部分を何回見つけることができるかが重要です。大会は真剣勝負の場で、見つけやすいですし、今年もそうした経験ができればと思います。もちろん、勝負ですから目標は優勝ですし、その中で選手個々が持っている特徴を出して、チーム全体が強くなることを考えてやっていきます。(6月18日取材)

プリンスリーグ YOUTH 市立船橋高に7-1の大勝 2位で再開を待つ

JFAプリンスリーグU-18関東2008の第8節が5月18日(日) NACK5スタジアム大宮で行われ、レッズユースは市立船橋高を7-1の大差で下した。レッズユースは現在2位。6月29日(日)にリーグが再開し、7月13日(日)までに残り3試合を行う。5位以内のチームが高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)選手権の出場権を得る。



前半24分、濱田水輝がゴールを挙げ2-0(5.18/市立船橋高戦)

JFAプリンスリーグU-18関東1部 順位表

順位	チーム名	勝点	勝ち	引き分け	負け	得点	失点	得失点差
1	横浜FMユース	19	6	1	1	16	8	+8
2	浦和ユース	18	5	3	0	18	5	+13
3	FC東京U-18	18	6	0	2	18	8	+10
4	東京Vユース	14	4	2	2	20	10	+10
5	桐光学園高	14	4	2	2	19	17	+2
6	流経大柏高	13	4	1	3	17	15	+2
7	桐蔭学園高	11	3	2	3	12	16	-4
8	前橋育英高	10	3	1	4	13	14	-1
9	市立船橋高	9	2	3	3	16	19	-3
1	三菱養和SC	7	2	1	5	8	18	-10
0	武南高	2	0	2	6	9	16	-7
1	湘南ユース	0	0	0	8	5	25	-20

(第8節・6月18日現在)

田仲智紀(5.18/市立船橋高戦)

プリンスリーグ関東1部 第8節

2008.5.18(日) NACK5スタジアム大宮

レッズユース 7 前3 後4 VS 前0 後1 市立船橋高

ポジション	選手名	得点
GK	柴田大地	
DF	菅井順平	
	濱田水輝	
	永田拓也	
	和田祐樹(森田健介/61分)	
MF	岡本拓也	
	山田直輝(石沢哲也/54分)	
	田仲智紀(利根川良太/74分)	
FW	高橋峻希(矢島倫太郎/61分)	
	阪野豊史(磯部裕基/89分)	
	原口元気	
得点者	阪野 3(22分、58分、80分)	
	濱田(24分)、原口(44分)	
	山田(48分)、矢島(87分)	



JFAプリンスリーグU-18関東1部 残り日程

第9節	vs桐蔭学園高	6月29日(日) 11:00 / 桐蔭学園高G
第10節	vs三菱養和SC	7月6日(日) 13:30 / ヴェルディG
第11節	vs桐光学園高	7月13日(日) 11:00 / 埼玉スタジアム4G

5/24
~ 25

香港国際 7人制サッカー トップ選手に交じりユース 5選手が出場

5月24日(土)~25日(日)に行われた「香港 FC・フィリップス・ライティング国際 7人制サッカー大会」に、浦和レッズとして、ユースから新井貴晴、利根川良太、中村隼、岡田昌巳、石沢哲也の5人が参加した。グループリーグでは、初戦の香港 FC戦に引き分け。第2戦でイーグルス FC(香港)に勝ち、最後はイングランドのウエストハムに敗れ、グループ2位で決勝トーナメントに進出した。準々決勝でスコットランドのセルティックに敗れたため、敗者復活戦に回り、そこで2試合を勝ち抜いて5位となった。

トップ選手で参加したのは、小池純輝、坂本和哉、林勇介、橋本真人の4選手。ユースの天野賢一コーチが監督として、井嶋正樹 GKコーチが選手兼任で帯同し、井嶋コーチは最後の試合で GK中村が負傷したため、交代で試合に出場する一幕もあった。



前列左から新井、中村、岡田、石沢、利根川。後列左から井嶋 GKコーチ、安岡晴浩ドクター、西垣輝光トレーナー、橋本真人、小池純輝、坂本和哉、林勇介、関敏浩主務、天野監督(ユースコーチ)、北野大助団長(強化部)

経験生かしもっと上に行きたい

新井貴晴(MF・2年)

外国の選手は体のサイズが大きかったり、1つのプレーに対する迫りかたが気持ちがあったりと違いを感じました。逆に、外国人の選手は体力的な部分で最後まで走れないということがあって、そこは僕たちの方ができたと思うし、個人としてもドリブルで何回か仕掛けて良い場面を作れたと思っています。その分、日本に帰ってから自信を持ってより積極的なプレーができています。でも、全部が成功したわけではないので、これから努力をしなければいけないですし、この経験を忘れずに、もっと上にステップアップして行きたいです。

外国選手のフィジカル強かった

利根川良太(MF・2年)

向こうは日本と違って気候が暑かったので、体力の面も強くなったと思いますし、切り替えの部分チームとして意識して戦ったんですが、その部分では相手を上回ったところがあったと思います。個人としては相手陣地のペ

ナルティエリア辺りでは1対1を意識して仕掛けて、向こうでしか体験できなかったフィジカルの強さや1人ひとりの迫りかたを感じることができたので、帰国してから良い意味で少し余裕を感じてプレーできています。しっかり原点を見つめながらこれからも練習に取り組んでいきたいです。

コーチングの力を高めたい

中村隼(GK・2年)

7人制の試合ということで、不慣れな部分もありました。オフサイドもないのでFKの壁の作り方も変わりますし、大会中に慣れて自分のプレーを改善できたら良かったです。取れるはずのボールも取れなかったということがあって、悔しかったです。トップチームの選手は自分のコーチングにしっかりと反応して動いてくれるので、自分の声で全員が動いてくれました。そのため指示を1つ間違えば、失点をするということもあって、コーチングの大切さやコミュニケーション能力を高めなければいけないとあらためて思いました。

トップ選手の姿勢、勉強になった

岡田昌巳(MF・2年)

トップチームの選手と一緒に試合ができて、試合への準備などすごく勉強になりました。グラウンドに行く前に、用具などの準備をするんですけど、トップの選手もそこを疎かにしないでやっていて、その姿勢も勉強になりました。全体的にすごく良い経験でしたし、トップの選手とやれたというのは非常に良かったです。香港は初めてでしたが、自分は英語が話せるので、通訳とかで役立てたのも良かったです。この経験を生かしてユースの試合でもどんどん出られるようになって、トップチームに上げられるようにしたいです。

強い気持ちを持つことができた

石沢哲也(MF・2年)

他の国の選手の力や自分がどれだけできるかということを確認したいというのがありました。印象に残っているのは最後のウエストハム戦で、試合自体が結構激しくなりました。自分自身、あまり試合中に熱くなることがなかったんですけど、珍しく強い気持ち

を出せた試合でした。気持ちが熱くなっていたせいか、何も考えずにプレーできたし、そういう試合が毎回できればもっとプレーの幅が広がるのかなと思います。勝利への執念というか、気持ちの面をすごく学べたと思います。

<グループリーグ>

0 - 0 香港 FC
2 - 0 イーグルス FC
得点者: 利根川、石沢
0 - 2 ウェストハム

<準々決勝>

0 - 3 セルティック

<順位決定戦>

2 - 0 ヤウイー選抜
得点者: 石沢、小池

<5位決定戦>

3 - 2 ウェストハム
得点者: 林、小池 2

* 試合時間はグループリーグ 7分ハーフ、決勝トーナメントから 10分ハーフ。ピッチは通常の 75パーセント。オフサイドはなし。

経験を次にどう生かすかが大切

天野賢一 ユースコーチ

大会は7人制でピッチもその人数にしては広いですし、オフサイドがないルールでした。その中で、セルティックやウェストハムなど海外の良いクラブとできるということで、大会自体が良いものでした。7人制というのは最後に1対1という個人の部分がすごく強調されるので、ごまかしがきかないんです。トッ

プの選手、ユースの選手それぞれが個を鍛えるという意味ですごく良かったと思います。対戦相手もフィジカルのすごく上の選手が多かったですし、トップの選手と一緒に生活をして試合に対してどう準備をするのか、ということから、見ることができたと思います。育成年代の選手たちにとっては特に経験

として非常に大きかったと思います。次に何を生かすかということが常に大事だと思いますし、トップの選手にしてもユースの選手にしても、本当に全てのことが経験ですから、今回の大会を個人が成長する機会としてとらえることが大切です。帰国してからもその経験を実際に生かして、トレーニングや試合をしていただいていると思います。

目に見える変化が見て取れている

井嶋正樹 GKコーチ

香港遠征は2回目でした。自分の役割としては監督を務めた天野コーチのサポートと、ユースの選手が半分くらいいたので、育成ということで、彼らのピッチ以外の部分の指導ということ意識していました。トップの選手と生活をすること、ゲームに取り組みまでの準備とか、姿勢というのを間近で

見て接することができて、良い影響を受けていると思います。同じサッカーですけど、ルールのオフサイドがないので、GKとしては、ゴール前を常に整理できない状況が多いですから、そういう中で自分がプレーしやすい状況を作り出すなど学べることができたと思います。11人のゲームの中でも実際にゴール前の

混戦という中であり得る状況ですから経験として生きるはずですよ。海外のサッカーに触れることは大切なことで、特にユースの選手にとってはすごく良い経験になっているはずですよ。こちらに帰って来てからも目に見える変化が見て取れるので、良かったと思っています。最後に出場もしましたが、不思議な感じでした。不安を感じながら立っていました。楽しかったですけどね(笑)

日本クラブユース(U-15)選手権 4年連続出場決定!

浦和レッズジュニアユースが、6月14日(土)から始まった第23回日本クラブユース(U-15)選手権関東予選を勝ち上がり、4年連続で全国出場を決めた。第23回日本クラブユース(U-15)選手権は8月9日から福島県のJヴィレッジで行われる。

鮮やか! 東京Vに逆転勝ちで8強

トーナメント方式で行われる関東予選2回戦から出場したレッズジュニアユースは、6月21日(土) ヴェルディグラウンドでジェファFCと対戦。先制されたものの追いつき、延長の末、PK戦で勝ちを収めた。勝てばベスト8となる3回戦は22日(日) 同じ会場東京Vジュニアユースと対戦した。前半終了間際にCKから失点したが、後半20分、途中出場の野崎雅也が同点弾を放ち、その3分後、野崎のパスに抜け出した堀田稜のシュートが決まって逆転に成功。この1点を守りきって全国出場を決めた。

自分が流れ変えるつもりで

野崎雅也
後半開始から途中出場。積極的にボールに絡み、20分に同点ゴールを挙げた。
ふだん出られない分まで自分が流れを変えるつもりでやっていました。ゴールのときは絶対にボールが来ると思って走りこみました。コースが見えたので思い切り打ちました。いつもこういう働きができるように頑張っています。



同点弾を決めた野崎に矢島慎也が飛びつく(6/22/東京V戦)

相手がライン上げる裏狙った

矢島慎也
何度も相手のオフサイドトラップに引っかかっていたが、後半20分には後方からのパスをスルー。野崎にフリーで渡し、同点弾のアシストをした。
相手がラインを上げて来ていたので、二列目から飛び出せばいいと思ってました。雅也が出てくるのが見えたので、自分がオトリになりました。今日は持っているものを全部出し切ろうと思っていました。

ビハインドでも気持ち強く

小出啓太
右サイドバックでキャプテンを務めた。
2試合ともビハインドになりましたけど、みんなで声を掛け合ってあきらめずにやって点を取れて良かったです。ヴェルディにはこれまで1回しか勝っていないので、気持ちを強く持っていました。これからもみんなで一丸になって戦ってきたいです。

関東U-15リーグ 習志野に大勝、4位で中断

第2回関東ユース(U-15)リーグ第6節が5月18日(日)、レッズランドで行われ、レッズジュニアユースはジェフ千葉習志野と対戦。前半3分に関口天翔が先制し、18分、24分に矢島慎也が連続ゴールするなど前半5得点。後半にも3点を加えて8-1で大勝した。関東ユース(U-15)リーグは、現在中断中で、レッズジュニアユースは4勝2敗の4位。再開は9月15日(月・祝)



前半3分、関口天翔が先制ゴールを挙げる(5.18/習志野戦)



後半11分、堀田稜がこの日2点目を決める(5.18/習志野戦)



東京Vに逆転勝ちで関東8強入り。全国出場を決めた

日本クラブユース(U-15)選手権 関東予選 2回戦 2008.6.21(土) ヴェルディ G				
ジェファFC	1	vs	1	レッズ ジュニアユース
前0 後1			前0 後1	
前0 後0		延長	前0 後0	
PK 2 - 4				
GK	大石祐輝			
DF	小出啓太(新井純平) 西澤秀平(片 横吾) 皆川孝之 金野偉太			
MF	西山航平 鈴木悠太 堀田 稜 小峯洋介(野崎雅也)			
FW	矢島慎也(平澤 遼) 関口天翔			
得点者	矢島			

日本クラブユース(U-15)選手権 関東予選 3回戦 2008.6.22(日) ヴェルディ G				
東京V ジュニアユース	1	vs	2	レッズ ジュニアユース
前1 後0			前0 後2	
PK 2 - 4				
GK	大石祐輝			
DF	小出啓太(新井純平) 皆川孝之 西山航平 金野偉太			
MF	片 横吾(西澤秀平) 鈴木悠太 堀田 稜 小峯洋介(野崎雅也)			
FW	矢島慎也 関口天翔(繁田秀斗)			
得点者	野崎、堀田			

昨年より上位、できれば優勝を

堀田 稜
後半23分、ゴール前に抜け出し、相手DFがスライディングに来る寸前にシュート。GKの股間を抜いて逆転



後半20分、野崎雅也が同点ゴールを決める(6/22/東京V戦)

ゴールを決めた。
シュートに行く前に、DFもGKも来ているのが見えたが、触らないと何も起きないと思ったので、爪先で蹴りました。全国大会では去年よりも良い成績を残し、できれば優勝を狙いたいです。

関東予選今後の日程	
準々決勝	7月5日 vs 前橋 FC
準決勝	7月6日 決勝 7月12日
*会場はいずれも河口湖サッカー場	
全国大会の日程	
グループリーグ	8月9日・10日・11日
1回戦	13日 準々決勝 14日
準決勝	16日 決勝 17日
*会場はいずれもJヴィレッジ	

関東U-15リーグ 第6節 2008.5.18(日) レッズランド				
レッズ ジュニアユース	8	vs	1	ジェフ千葉 習志野
前5 後3			前0 後1	
GK	齋藤賢太(吉野雅大 / 40分) (大石祐輝 / 62分)			
DF	小出啓太(仲田健太 / 68分) 西澤秀平 西山航平 金野偉太(島崎央里 / 62分)			
MF	片 横吾 鈴木悠太 小峯洋介(野崎雅也 / 62分) 堀田 稜			
FW	関口天翔 矢島慎也			
得点者	関口(3分)、矢島2(18分、24分)、堀田2(30分、51分)、小峯(34分)、片(48分)、小出(67分)			